



品川区議会だより

No.224 発行 平成23年(2011年)2月16日 発行所 品川区議会事務局(〒140-8715) 東京都品川区広町2丁目1番36号 電話 3777-1111 (大代表) 5742-6810 (直通)
品川区議会のホームページアドレス <http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/kugikai/index.html>



本会議傍聴 芳水小学校・杜松小学校

平成22年 第4回定例会 12/9~12/22

- 平成22年第4回定例会の議案……………1~2
- 請願・陳情の審査結果……………2
- 意見の分かれた議案……………2
- 議員研修会を開催しました……………2
- 区政をきく(一般質問)……………3~7
- 採択し、報告を求めた請願・陳情について ……3~7
- 可決された意見書……………7
- 請願・陳情を提出するには……………8
- 本会議・委員会の日程(予定)……………8
- 議会棟案内図……………8

▼地域センターの設置に関する条例
荏原第三地域センターの位置を変更する。
〔現行〕
平塚一丁目13番18号
〔改正後〕
平塚三丁目9番1号
施行期日 平成23年5月2日

▼区立区民集会所条例
りんし21区民集会所を廃止するほか、荏原第三区民集会所の位置を変更する。
〔現行〕
荏原第三区民集会所
〔改正後〕
平塚一丁目13番18号
平塚三丁目9番1号
施行期日 平成23年4月1日
(荏原第三区民集会所の位置を変更する改正規定は平成23年5月2日)

▼区立保育所条例
北品川第二保育園を設置する。
〔所在地〕
北品川三丁目7番43号
施行期日 平成23年6月1日

▼区立幼稚園条例
御殿山幼稚園の位置を変更する。
〔現行〕
北品川五丁目10番7号
〔改正後〕
北品川三丁目7番43号
施行期日 平成23年4月1日

▼区長および副区長の給与および旅費条例
区長、副区長および区議会議員の期末手当に係る支給月額を0・15月分引き下げる。また、常勤の監査委員の期末手当についても同様とする。
施行期日 平成23年1月1日
(平成23年度以降の期末手当に係る改正規定は平成23年4月1日)

▼教育委員会教育長の給与および旅費ならびに勤務時間その他の勤務条件に関する条例

第4回定例会の議案

平成22年第4回定例会は、12月9日から12月22日までの14日間の会期で開催されました。

区長から、「地域センターの設置に関する条例(一部改正)」などの議案が、議員より「シルバー人材センターに対する国庫補助金を縮減しない事を求める意見書」の議案がそれぞれ提出され、慎重審議の結果、次のとおり可決されました。以下、概要をお知らせします。

▼指定管理者の指定について
公の施設の管理を行わせるため、指定管理者を指定する。
施設の名称
区立総合体育館
区立戸越体育館
指定管理者
財団法人品川区スポーツ協会
指定期間 平成23年4月1日
平成28年3月31日

▼指定管理者の指定について
公の施設の管理を行わせるため、指定管理者を指定する。
施設の名称
区立家庭あんしんセンター
指定管理者
社会福祉法人福栄会

▼指定管理者の指定について
公の施設の管理を行わせるため、指定管理者を指定する。
施設の名称
区立総合区民会館
指定管理者
財団法人品川文化振興事業団
指定期間 平成23年4月1日
平成28年3月31日

▼指定管理者の指定について
公の施設の管理を行わせるため、指定管理者を指定する。
施設の名称
区立総合区民会館
指定管理者
財団法人品川文化振興事業団
指定期間 平成23年4月1日
平成28年3月31日

人権擁護委員の推薦

人権擁護委員法第6条第3項の規定に基づき、次の者を人権擁護委員に推薦することに賛成した。
須藤 耕二氏

その他の議案

教育委員会教育長の期末手当に係る支給月額を0・15月分引き下げる。
施行期日 平成23年1月1日
(平成23年度以降の期末手当に係る改正規定は平成23年4月1日)

古紙を配合した紙を使用しています。

区政をわたくし(一般質問)

平成22年第4回定例会では、各会派から9名の議員が、区政全般にわたり一般質問を行いました。
以下、概要をお知らせします。



高橋 慎司 議員 (無ク)

政治・経済・社会情勢の変化と区政運営について

事務事業評価について

①平成17年度までの5年間に行った事務事業評価後の改善などは。②見直しなどと評価された事業は、どのように改善等をしたのか。③区民の方々の生の声を事務事業評価との関係において、どのように区政に反映させるのか。④成果を短期的また中長期的にどのように活かすのか。

①都立品川特別支援学校内での放課後サポートについて
⑦すまいるスクールで行っている。①NPOへ委託をして協働で行っている。②近隣の小学校での受け入れ態勢の準備は。健康福祉事業部長 ⑦生活の場の提供として、ナイスデイサポート事業を運営委託しているなど。①NPO法人に運営委託している障害児タイムケア事業の増設を検討している。②相談の結果受け入れるケースでは職員の加配など必要な措置を講じている。

子ども発達支援センターについて

①発達支援をトータルで行う支援センターを整備しては。②障害児支援政策の関係部署間における連絡体制は。③子どもの発達状況把握のシートにより継続された支援が行われているのか。④発達障害をもつ区内在住高校生の放課後の居場所をつくっては。

①発達支援をトータルで行う支援センターを整備しては。②障害児支援政策の関係部署間における連絡体制は。③子どもの発達状況把握のシートにより継続された支援が行われているのか。④発達障害をもつ区内在住高校生の放課後の居場所をつくっては。

障害児の放課後サポートについて

①専門性を持つNPOや社会福祉法人へ、区立保育園の運営委託を行っている。子ども未来事業部長 ①待機児童対策の一環として、社会福祉法人等による認可保育園の開設を計画的に支援する。

NPOの保育園運営による協働事業の推進について

①専門性を持つNPOや社会福祉法人へ、区立保育園の運営委託を行っている。子ども未来事業部長 ①待機児童対策の一環として、社会福祉法人等による認可保育園の開設を計画的に支援する。

児童センターの在り方について

①あるべき姿への考えは。名称はこのままでよいのか。②地域子育て支援事業の再編整理が必要では。③NPOによる児童センター事業の委託拡大も視野に入れている。子ども未来事業部長 ①地域との連携を重視した事業展開を行っている。②子育てについて相談や情報提供などを行っている。③協働の観点から推進する。

会計管理室について

①財務会計システムの導入による改善点は。②支払期間の短縮へ工夫は。③さらなる機械化等によって、早期に債権者である中小業者へ着金が

できないのか。④銀行の年末営業日まで支出の努力を。会計管理者 ①主に人件費を大幅に削減した。②事務処理のマニユアル化などを進めてきた。改善努力を続ける。③支払期間に影響する審査事務は、区の職員が行うほかないと考え。④平成22年内に支払いが完了するように各部門が進行管理に当たっている。

ユニバーサルデザインについて

①J.R大井町東口駅前デッキに、エレベーターの設置を。都市環境事業部長 ①開発の可能性を検討していく。



井桁 敦子 議員 (自民)

文化・芸術・スポーツ支援について

①年4回行われている文化財めぐりの応募状況と年齢層は。②無料配布しているマップについて。③発行部数などは。④地域の行事の記載をしては。⑤海外の観光客へ掲示のあり方を検討しては。④区独自の品川文化財検定を開催しては。

⑤グラウンドゴルフやテニスなどの場所の確保は。コート数の増など体育館を設置する際に工夫が必要では。サッカーグラウンドと野球場の整備の予定は。⑥五反田文化センターの音楽ホールについて。⑦きゅりあんとの利用方法の違いは。⑧プロも利用しやすい場の提供への見解は。⑨グラウンド新設の際には観客席を導入しては。⑩芸術祭について。⑪一定期間の集中的な開催などに見解は。⑫若手のアーティストが低価格で作品を披露できる展示型のお祭りを開催しては。

地域振興事業部長

①過去3年間の平均で年4回の合計400名の定員に対して応募は530名だ。参加者の年齢層は60歳代が40%、次いで70歳代が30%など。②しながわ観光協会において、観光地図等を年間約6万部作成している。③地図には文化財や地域行事などを記載している。④文化財標識の英語併記等について、文化財所有者と立てかえ時に協議する。⑤幅広く品川の文化をとらえるような取り組みを検討したい。⑥今後もさまざまな工夫により施設の有効活用を努める。⑦営利目的の利用が制限されることなどにきゅりあんとの違いがある。⑧関係規定の見直しを検討する。⑨施設の改修等にあわせてグラウンド周囲にベンチを設置するなど可能な範囲で工夫する。⑩来年度は芸術の秋の約2か月で開催する予定だ。⑪若手アーティストの作品展等も実施する予定だ。

障害者(児)支援について

①障害者(児)支援について

①障害者(児)支援について

子育て支援について

①親育ち事業の今後の展開は。②配布しているのびのびダイアリーの活用へ、働きかけを行っている。③一時的にでも親族がそばにいられる環境の整備への補助などに対する見解は。④すくすく赤ちゃん訪問事業へのさらなる支援を。⑤相談体制について、包括的な観点からのソーシャルワーカーの検討をしては。区長 ①親育ちワークショップなどの事業を充実・強化し、保護者の方々の参加促進を図る。②今後は小型化した子育てパンフレットとして活用していただく。③親世帯と子世帯が近居できるように支援等について研究する。④地域から孤立しがちな母親に各種の子育て支援を案内するなどの対応を行っている。⑤さらなる支援が必要な場合には医療機関へ紹介するなど、各種相談体制の充実に努める。

採択し、報告を求めた陳情について

平成22年第3回定例会で採択し、区長に報告を求めた陳情について、次のとおり報告があったので、お知らせいたします。

品川区内の中小企業の振興対策に関する陳情

区内の中小企業に対する区の支援につきましては、最近の経済状況を鑑み、緊急経済対策としての融資あっ旋や経営相談等を行なっているところ。今後中小企業に対する国や都の経済対策の動きを注視しながら、区としての支援を行なってまいります。



山元 敬子 議員 (公明)

待機児童対策のさらなる拡充について

①今年度に66人の待機児童が発生したが、認識と対策への評価は。②さらなる受け入れ枠の拡充をどのように図るのか。③平成23年4月の入園希望見込み数と、それに対応した取り組みは。④東品川地域で開設する、事業所型保育ママ制度について⑤応募状況は。⑥国等からの補助金は。⑦各地域での早期実施について⑧今後の方向性などは。⑨区内の認可外保育所について⑩施設や人員配置などの保育環境の情報を把握しているのか。⑪区の認識等は。⑫利用者への助成としては。

①健康診断に関するアンケートを実施し、家族を含めた健康管理の重要性について理解を深める事業を実施しては。②乳幼児健康診査などの機会をとらえて母親の健康を守るための健診および健康講座を実施しては。③女性の更年期の健康管理に対して取り組みは。④更年期に関する正しい情報の提供と健康管理につながるきっかけづくりを推進しては。⑤一生を通じて健康管理ができるトータルライフケアの実現のために、品川健康情報発信サイトを構築しては。サイトの完成までの間、石川県内灘町のサイトを紹介して区民の利用を促進しては。品川区保健所長 ①女性の健康づくりについて啓発に努め、出張健康学習の講座を広めていきたいと考えているなどだ。②乳児期母親学級などの機会を生かす。③区内13地区健康づくり推進委員による活動などを実施している。④地域健康づくり活動や地域の区民の依頼による出張健康学習において正しい知識の提供や健康づくりのきっかけづくりを進める。⑤年齢層に応じた継続的な健康管理に役立つ情報の提供などについて今後の研究課題とする。

区立図書館の運営について

①徹底した職員のレファレンスサービスや、図書館を利用していない方を減らす目標設定などを行っている滋賀県野洲市の図書館運営に取り組み姿勢について所見は。②図書館が購入している雑誌の年間購読料を支払うことで書架を含めて広告を入れることができる、雑誌オーナー制度を創設しては。③図書購入財源の受け入れ窓口として、図書館充実基金の創設をしては。④視覚障害者や高齢者が図書館に郵便物等を持ち込み、それを音読し書類などに代筆する、代読・代筆サービスを図書館で取り組んで。教育次長 ①職員やスタッフが職務に対し強い熱意を持ち、サービス感覚を高める努力を継続してきていることが図書館利用者の満足度に反映されていると認識する。②区民や企業によるスポンサーシップの活用については、魅力的で効率的な図書館づくりの方策を検討する際の参考とする。③図書館事業においてはさまざまな形で区民の方や区内企業からご寄附をいただき、その趣旨を活かすよう図書館事業の充実に充てている。④現在、居宅介護事業所のヘルパーによるコミュニケーションサービスなど多様な方法によるサービスの提供がある。地域福祉計画改定の中で提案の趣旨について活かしていく。



本間 隆 議員 (民主)

水とみどりの活用について

①東京都下水道局が整備を進めている鮫洲ポンプ所の整備の目的や完成時期等は。②下水道施設の上部利用について③公園として整備されることも聞いているが、整備計画をまとめるに当たって地域との話し合いの状況は。④どのような方針で整備を行うのか。⑤勝島運河では花植えのボランティア活動が行われている。鮫洲入江埋め立てに整備される公園においてもボランティア活動の声が出てくるか。⑥勝島運河などでは都の運河ルネサンス推進の指定を受け、さまざまな取り組みが進められているが、区としては魅力ある水辺空間をどのような形で創出していくのか。都市環境事業部長 ①近接する勝島ポンプ所との整備とあわせて平成23年度末の一部完成をめざしており、浸水被害が軽減されるほか勝島運河の水質が改善されるものと期待している。②③④の住民

説明会を開催し、地域の意見も踏まえながら進めている。①立地条件を生かし勝島運河から、しながわ区民公園に至る、水とみどりのネットワークの拠点となる公園として整備する方針だ。②同様にボランティア活動を支援していく。③地域の方々の活動を支援していくとともに、水辺の散歩道の整備を進める等、さらなる魅力の向上に努める。

高齢福祉への取り組みについて

①孤立死ゼロ大作戦を掲げている孤立死防止への取り組み内容は。②認知症への取り組みと課題は。③認知症がひどくならないように準備しておくことなどは何か。④区の認知症高齢者の人数等は。⑤成年後見制度の申し立て状況等と課題は。⑥モデル事業「自立高齢者の訪問介護」の意図や内容は。健康福祉事業部長 ①民生委員や地域住民による見守り活動を支援することなどだ。②本人へのサービスの充実や認知症サポーターの養成などに取り組んでおり、専門研修を実施しケアの質の向上にも努めている。③生活習慣病の予防、活発な日常生活や地域交流活動に参加することも有効だ。④施設入所者を含め約5千人などだ。⑤平成21年度は区長申し立てが44件、法人後見活動は21件などだ。課題は成年後見センターの体制の強化だ。⑥24時間対応訪問介護サービスで、対象は要介護認定者、要支援認定者および認定非該当の自立高齢者として

町会・自治会への支援について

①町会・自治会でのホームページの取り組み状況は。区はどのような対応をしているのか。②町会・自治会への加入促進についての取り組みは。③地域美化・清掃活動における④資源回収事業での持ち去り問題の実情は。⑤不動産案内等の違法広告物への対策は。⑥放置自転車についての対策は。⑦町会会館や事務所が町会名でマンションを取得する場合はマンション取得する場合は借入する場合や賃貸での借入する場合の支援策は。⑧防災活動についての支援は。⑨国勢調査の調査員の苦勞話が絶えないが、国への改善要望を含め区としての工夫があるか。区長 ①28の町会が作成し、PR等に活用している。区は講習会等を実施し、今年度新たに3町会が開設する予定だ。町会の要望等を踏まえた支援を行っている。②マンションの建築主等に対する入居者の町会加入指導等だ。③専任体制で指導を強化し、警察と一層の連携を図る。④定期的に除去活動を実施している。⑤警告書を貼付した上で撤去している。⑥土地つき建物は経費全体の2分の1を補助対象とし助成の増額等を図った。⑦借付する場合は葬祭を行うことを前提に、空調の設備助成などを実施している。⑧防災資機材の配備、訓練費用の助成や区職員による人的支援などだ。⑨独自の資料作成など改善を図った。次回に向け国への要望をしっかりと伝える。

採択し、報告を求めた請願について

平成22年第2回定例会で採択し、区長に報告を求めた請願について、次のとおり報告があったので、お知らせいたします。

(仮称)目黒駅前地区第一種市街地再開発事業に関する請願
都市計画法等関連法規の手続きにより、都市計画の手續を進めております。

また、事業者に対し事業の実現に向けて協議、調整を行っております。

子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める請願

本請願の趣旨を踏まえ、他自治体および国の動向を見守りつつ、ワクチン接種に関する検討を進めてまいります。このたび、本請願の趣旨を踏まえ、第3回定例会において、本ワクチンの接種費用一部助成に関する補正予算を計上したところでございます。



中塚 亮 議員 (共産)

3園目の認可保育園増設を 歓迎 来年4月に希望者み んなが入れるよう、さらに 増設を

①認可保育園についてア希望しながら入れない子どもをださないよう、緊急増設を。
②緊急対策で0歳から2歳児は区の空き施設等を活用して分園を。③第一日野小学校跡は認可保育園等住民要望に沿った利用への変更を。④私立認可保育園の3園開設と、そのほかの開設への働きかけの方針等は。⑤認可保育園の増設を民間任せにせず、区も増設へ方向転換し作るべきでは。⑥なぜ入園申し込みを年度でご破算にし、再申し込みをさせるのか。⑦平成22年4月に入園できなかった人の内訳は。子ども未来事業部長

的に支援する。③私立保育園の役割は重要であり、今後も開設を支援していく。④申請は申請日時点の意思の確認であり品川区の規定は特別ではない。⑤常勤が105人、パートが94人、自営業が45人などだ。

特養ホーム増設の請願採択を受け、品川区は小規模でも必要数を早くつくれ

①杜松小学校跡での特別養護老人ホーム完成前に小規模でも必要数の増設を。②土地確保についてア広さは。③何か所探しているのか。④検討を約束した小規模特養ホームの⑤敷地面積は。⑥何か所作るのか。⑦TOCCへの第一日野小学校跡の貸し出しはやめ、住民要望こそ優先すべきでは。健康福祉事業部長 ①ひとり暮らし高齢者が増えていることを踏まえ、一定の整備を検討していく。②ア2千㎡程度と判断している。③整備数は適地の確保の結果と考える。④ア1千㎡程度だ。⑤候補地の条件による選択の結果だ。⑥見直しは考えていない。

区営住宅を建設しない方針から増設への転換を 若者・高齢者など所得の少ない方への家賃助成実施を

①区営住宅増設へ方針転換を。②高齢者などへ家賃助成を。③区営住宅を作らない理由に世帯数より住宅戸数が上回っていることなどをあげるが、なぜ高級マンションの再開発に税金を追加するのに区営住宅はつくりたくないのか。防災まちづくり事業部長

①区営住宅は23区でも中位のストック状況にあることなどから増設の考えはない。②新たな家賃助成の考えはない。③再開発事業で建設する住宅と区営住宅は目的を異にするものだ。再開発事業は公共性等を評価し補助支援している。

深刻な生活危機が続くなか、越年できるような緊急対策を来年度の国保料値上げは中止し、値下げを

①年末対策として生活相談などの総合相談窓口の設置を。②区役所休業中にも生活保護申請等に対応できる体制を。③住宅リフォーム助成など緊急経済対策の継続や充実を。④国民健康保険料の算定方法の変更でア来年度はどれくらい上がるのか。⑤保険料が増える方は何%で、最も影響を受ける方は。⑥値上げの影響をどう考えるのか。⑦国保料を値下げし、資格証発行はやめるよう求める。⑧国保事業の広域化方針は撤回し、市区町村国保制度の維持・拡充に取り組みむことを国に求めている。区長 ①各所管課が連携をとっていることなどから、設置する考えはない。②既に必要な体制を整えている。③予算編成の中で検討する。健康福祉事業部長 ④ア一人当たりの単純月額換算で1千100円から1千600円程度だ。⑤約25%で被扶養者の多い世帯などだ。⑥一定額以上増の方々に経過措置を設ける等の対策をする。⑦資格証発行は公平性等の観点から適正に運用する。⑧国が十分な財政責任を果たすよう要望している。



原 浩三 議員 (自民)

品川区の教育委員会の理念について

①今や580を超える区市町村に広がりを見せる小中一貫教育や教員の独自採用などの施策は、すべてにおいて理念と整合性がとれているものか。②国や都の教育機関との連立性は保たれているのか。③小中一貫教育にスポットが当たっているが、少子化していく今日、単独校は将来も存続できるのか。その将来性については。

教育長 ①計画的な教育改革の取り組みは、学校への区民の支持と信頼を得る目標のもと位置づけられており、固有教員の採用等はここから生み出されたものだ。②小中一貫教育の教育課程の編成や市民科などは国の特区認定を受け行っている。また教員の加配による個に応じた授業の実施は都との連携によるもので、今後とも密接な連携を保っていく。③不漸の教育改革を進め単独校、小中一貫校を問わず、地域に根ざした質の高い学校づくりに取り組む。

品川区の指定管理者制度について

①よほどの事由がない限り、基本的に5年ごとに同一の指定事業者が選定されるのか。②選定のプロセスは。③指定管理者の所在地が区外の割合

品川区の総合評価方式について

①簡易型総合評価方式により、公共工事や公共施設維持管理業務委託などが行われているが、その基準は適正な

か。②入札参加各企業等に点数を伝える開示方法で必要十分なのか。③簡易型プロポーザル方式の連関からしても新規参入がしにくいのでは。④契約事務に関する情報の公開実施について、要綱や基準の古いものは見直しや廃止を考えたほうがよいのでは。

品川区の高齢者に対する介護・支援を含む対策や居住環境などについて ①八潮南中学校跡や旗の台の民間型、大井林町の区立型の高齢者施設等が計画されているが、現況と今後の動向は。区長 ①特養ホームの整備が第1の柱、第2の柱がケアホームやグループホームなどだ。大井林町の住宅は介護事業所も併設した、新しいタイプの高齢者住宅となる。②行政の責任などを考えて区立を基本とした。それぞれの施設にふさわしい手法を適用していく。

採択し、報告を求めた請願について

平成22年第2回定例会で採択し、区長に報告を求めた請願について、次のとおり報告があったので、お知らせいたします。

子宮頸がんから女性を守ることを求める請願

1 子宮頸がんワクチン接種費用の公費負担などの制度の創設について
本請願の採択を受け、他自治体および国の動向を見守りつつ、ワクチン接種に関する検討を進めてまいります。

このたび、本請願の趣旨を踏まえ、第3回定例会において、本ワクチンの接種費用一部助成に関する補正予算を計上したところでございます。

2 子宮頸がん検診の充実について
平成21年度の子宮がん検診受診率は24%、20年度の18%から大幅に受診者が増加してきています。

今年度は、個別通知にさらに普及啓発用リーフレットを追加し、送付物もイメージアップを図るなど一層の受診率アップに力を入れています。また、他のがん検診とのバランスも考慮し、効果的ながん検診の実施に努めてまいります。



川西 絹子 議員 (民主)

公園管理について

①区には約250の区立公園と児童遊園がある。公園の植栽の具体的内容について伺う。②16か所の公園では、専門の業者に維持管理を委託している。公園の樹木管理の水準が上がるように民間業者を指導しては。③公園の新設や改良には、どのような設計思想でみどりの樹種、割合を考えているのか。とりわけ植樹を選ぶ際の基準、常緑樹と落葉樹の樹種選定の比率は。④企業や学校、地域の力を借りて公園の維持管理の充実を図ることについての考えは。⑤剪定した樹木を堆肥として生かす、新しいみどりのリサイクルを構築しては。

働により公園のみどりが守られるよう働きかけをしていくなどだ。⑤その仕組みが実現可能かと今後協議していく。

防災・環境保全のための品川の森づくりについて

①森を公園等の公共施設に造成していくことは、環境再生や防災の面からのまちづくりに、みどりと触れ合いの場所づくりの面からも必要と考えるがいかがか。②公園にみどりを増やす、公園の森構想の実施計画を。

都市環境事業部長

①②公園のみどりは震災時の大規模火災を遮断する効果を実証されている。また、森をイメージする公園として整備することとは、子どもたちの情操教育の場を確保する上でも貴重な財産になる。提案の趣旨を活かした魅力ある公園づくりを進めていく。

高齢者が安心して暮らせるための施策の更なる推進について

①高齢者住宅を増やすために企業等の単身者住宅を購入して活用しては。②シルバー人材センターは昨年度の行政刷新会議の事業仕分けの評価結果で平成22年度国庫補助が

16・2%削減され、事業運営等に困難を生じている。⑦補助金を削減することなく、引き続き支援することに区の考えは。⑧国からの予算削減は最小限に抑えるよう要望を出すことに区の考えは。

区長

①ケアホームなど高齢者施策全体としてみれば転用の可能性もあり、検討の余地はあるが、従来タイプの高齢者住宅については既に一定の基盤が整備されているので、購入の考えはない。②今後とも支援を充実させていく。

③全国のシルバー人材センターが要望を行うと聞いているので、動きを見守っていく。

リサイクルと生ごみ処理について

①再生利用促進や適正処理は自治体負担が重く、今後の大きな課題だ。リサイクルできる品目の拡大とともに、その費用削減について取り組みが必要と考えるが今後の方針は。②生ごみの加水分解処理は設置コスト等が安いことなどにメリットがある。食品リサイクル法で規制し、年間100トン以上の食品廃棄物を排出する事業者に働きかけることも必要だ。今後の区の考えは。

都市環境事業部長

①技術の進展などを踏まえながら、品目の拡大について検討する。今後効率的な体制を推進するとともに、区民や事業者への発生抑制の視点から積極的に普及啓発を実施するなどだ。②加水分解処理を導入している事業所の把握に努め、先進的な取り組みの事例として区内各事業所に紹介していく。



浅野 浩之 議員 (公明)

品川区の各種ホームページについて

導入する必要性は低い。④要望を聞き、情報の効果的な発信ができるよう、支援方法の検討などに取り組む。⑤簡易型のホームページを作成できるマイページ機能等を十分に活用できるよう支援していく。

地図の情報化の推進と区民への提供について

①土木管理支援システムなどの情報システムや地図に展開できるデータ、位置情報を含むが地図に展開できないデータ、単なる画像データとして保管しているデータについて、それぞれの現状は。②地図データを一括して管理する統合型GISを早期に構築してホームページで地図として提供するなどしては。③地震防災マップ制作の進捗状況等は。④区が維持管理している設置物を統合型GISにて管理し、破損を発見した場合、状況をメールなどで区に簡単に送信できるようにしては。

企画部長

①地図情報システムは5件、地図に展開できるデータと位置情報を含み地図に展開できないデータはそれぞれ20件程度、画像データとして保管している数は10件程度だ。②サービス向上の面で有効だが、多額の費用や運用面での課題もある。引き続き調査研究を進める。③総合的な防災マップについて検討しているところだ。④設置物へのQRコードの貼付なども含めて調査研究をしていく。

障がい児のためのデジ教科書の採用について

障がい児の教材の活用を含めた教科書バリエーションへの対応状況は。②文字に音声同期させて読み上げることが可能にしたマルチメディアデザイン版教科書の採用に向けた検討状況は。

①文字や図形等を拡大した拡大教科書の活用を含めた教科書バリエーションへの対応状況は。②文字に音声同期させて読み上げることが可能にしたマルチメディアデザイン版教科書の採用に向けた検討状況は。

教育次長

①拡大教科書は平成19年度から配布を始めた。学習効果を上げることに役立っている。点字教科書は対応の用意をしている。②指導上の効果が見込める一方で、利用上の課題もある。改良や改善の推移を見守っていく。

荏原町駅周辺の課題について

①荏原町駅南側の三間通りと仲通りとの角地の共同化の進捗状況は。②4月に開園予定の(仮称)グローバルキッズ

ズ荏原町保育園の通園や避難ルートなど、園児の安全を守る取り組みは。③荏原町駅の東西の両踏切について踏切の拡幅を。④拡幅が実現するまで、保育園の設置者に通園時の安全対策の徹底を。

防災まちづくり事業部長

①地権者による共同建替え研究会を発足して検討を行っている。防災面で多くの課題を抱えることから、区としても支援を行う。②安全に注意しながら園児を引率・誘導できる体制整備について保育園の認可に際し、指導をしていく。③踏切部へつながる道路の拡幅も必要であるため、鉄道立体化も含めた対策について可能性を探っていく。④保護者に対する安全指導を徹底するよう、保育園の設置者に対して注意を喚起していく。

採択し、報告を求めた請願について

平成22年第3回定例会で採択し、区長に報告を求めた請願について、次のとおり報告があったので、お知らせいたします。

高齢者が安心して住み続けられるための支援に関する請願

区では、今後の高齢化の進行や一人暮らし高齢者等の増加を踏まえ、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、介護のサービスネットワークとして特別養護老人ホーム等を八潮南中学校跡に、また、多少心身が不自由になっても、住まいを中心に介護サービスや医療サービス・見守り機能を付加した高齢者住宅を都営大井町アパート跡に整備してまいります。

さらには、杜松小学校跡に、特別養護老人ホーム等高齢者福祉施設の整備検討を進めてまいります。



山内 晃 議員(自民)

H23年度へ向けた予算と事務事業に関すること

①不況がもたらす区への影響をどのように分析しているのか。基金の取り崩しなどの考えは。②新たな歳入源について考えは。③一括交付金制度が導入されると、区にどのような影響があるのか。④平成21年度と、今年度実施している事務事業総数は。⑤今後の歳入の落ち込みを考慮すると、本来現状維持という事務事業でもやむを得ず縮小、延期や見直しとすることも考えられるがいかがか。

区長 ①区民税と財調交付金の落ち込みはこしばらぐ続くものと見込まれる。財政調整基金を必要に応じて活用し、区民サービスの維持向上に努めているなどだ。②広告料収入などの確保策を講じており、今後とも創意工夫し、収入の確保に努める。③影響や規模については現在具体的なものが示されていないので、明らかではない。④21年度と22年度の事務事業の総数は、それぞれ849本と865本だ。⑤事

務事業評価を軸とした行財政改革に努めつつ、柔軟で弾力的な対応を図っていく。

介護保険制度に関すること

①ショートステイの現状と今後の展開は。②厚生労働省が検討をしている、お泊りデイについて区の考えは。③小規模多機能型施設の取り組みと課題などは。④夜間対応型訪問介護事業所を活用した24時間対応システムモデル事業について⑦取り組みの実績や課題は。①どのように対象者を選択したのか。②料金設定についての考えは。③今後整備する杜松小学校跡の小規模特別養護老人ホームについて

同様の広さでも可能と認識している。⑥多床室は対象とはならず、従来型個室のみが補助対象となった。⑦確保できる敷地の条件などを見定め、その都度検討をする。

⑦定員数は何人になるのか。⑧個室が狭くなるとヘルパーの仕事が多少困難になるのは。⑨都が示した補助の対象に八潮南中学校跡の高齢者施設は適応されたのか。⑩これからの特養施設に関する考え方と整備についての方針は。

健康福祉事業部長 ①利用希望が多いため、ベッド数を増やしていくなどだ。②基本的に小規模多機能型居宅介護やショートステイでの対応が望ましい。③利用登録者数など運営面での意見もあるが、介護保険事業計画に沿って今後とも整備する。④従来の夜間対応型の仕組みをそのまま活用できるかなど検証する。⑤夜間対応型の利用者を中心にお願いしたなどだ。⑥基本は夜間対応型の介護報酬に準じている。⑦地元の要望も踏まえ検討をしていく。⑧ベッド両側からの介護の余地があることが望ましく、多床室

脱ゆとり教育について

①これまでのゆとり教育についてどのように検証しているのか。今後の脱ゆとり教育に伴う新教育指導要領について伺う。②今後の方針に賛成の教員や保護者ばかりではないと思うが、その対策は。

教育長 ①現行の教育指導要領で強調された生きる力を育むことを重視しつつ、小中一貫教育要領を定め、国に比べ約35時間の授業時数を増やした。基礎学力等の向上など、成果を上げている。②教員の抵抗等はなく、保護者からも十分な理解と支持を得ている。

英語教育の現状について

①初めて接する外国人への不安などを感じる児童に対する指示をしているのか。②英語などの目標言語を使って教科学習を行い、教科学習の達成と外国語習得の2つをめざす、イマージョン教育に関する考え方について伺う。

教育長 ①小学校低学年では、身振りをつけて歌うなど抵抗感なく英語に触れ、慣れ親しむことを中心とした授業を進めている。②自然な形で慣れさせていくことが英語力の向上に大変重要だ。その趣旨を生かした指導を既に一部の学校でモデル実施している。

シルバー人材センターに対する国庫補助金を縮減しない事を求める意見書

我が国は少子高齢化が急速に進み、世界一の高齢化社会となり、高齢者が安心して働ける社会の構築が政府の喫緊の課題となっている。その様な中、シルバー人材センター事業は、高齢者等の雇用の安定等に関する法律を根拠とする「高齢者の就業の機会を確保し、もって高齢者の福祉の増進に資することを目的とした」公益法人であり、平成22年度現在、全国1332団体、80万人の会員を抱え、会員である高齢者の生活支援を始め、地方公共団体と連携し、福祉、教育、ボランティア、各種事業に携わり、地域社会の大きな担い手となるとともに高齢者の就労、健康維持、地域課題の解決等を同時に行うことができるかけがえのない存在である。

しかし、平成21年度、行なわれた「事業仕分け第一弾」の結果、シルバー人材センターに対する国庫補助金は22年度概算要求より、16.2%縮減された。全国のシルバー人材センターの運営が困難となることを懸念し、品川区議会では、平成22年3月26日「シルバー人材センターへの補助の縮減を行わないよう求める意見書」を全会一致で採択した。ところが、平成22年度に行なわれた、行政刷新会議の再仕分けでは「事業仕分け第一弾の評価結果の着実な実施」と評価され、平成23年度、概算要求までの縮減額は約27億円、率にして20.3%と大幅なものとなっている。これ以上補助金が縮減された場合、事業運営が困難となるセンターが生じ、シルバー人材センター事業の大きな混乱を招く事となる。

よって、品川区議会は、高齢者の生きがい就業の場を失わせ、生活の圧迫につながるシルバー人材センターへの補助金縮減を行わない様、強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

平成22年12月22日

品川区議会議長 本多 健 信

内閣総理大臣 菅 直 人 様
厚生労働大臣 細 川 律 夫 様

採択し、報告を求めた請願について

平成22年第3回定例会で採択し、区長に報告を求めた請願について、次のとおり報告があったので、お知らせいたします。

特別養護老人ホーム・老健施設の増設と介護現場で働く人の待遇改善を求める請願

現在、区内には特別養護老人ホーム7ヶ所、老人保健施設1ヶ所が整備されていますが、団塊世代が65歳以上を迎える中で、ひとり暮らし世帯や要介護状態となる高齢者は今後も増加が見込まれていきます。特養ホームや老健をはじめとする介護基盤の一定の確保が必要となる中で、区では、新しいタイプの高齢者住宅を整備し、医療と介護の各サービスが外部から円滑に提供され、多少心身が不自由になっても安心して住み続けられるよう高齢期の地域生活を支援してまいります。

介護従事者の処遇改善については区でも、訪問介護員の資格取得助成をはじめ介護人材の質向上に向けた研修事業により介護人材の確保に取り組んでいます。また、本年8月には国への要望として特別区長会でも介護保険の充実をあげています。介護人材の確保と処遇改善は今後も重視される全国的な課題であるため、各種交付金制度の継続等、介護人材の確保定着に向けた取り組みを特別区区長会を通じて国や都へ要望してまいります。

採択し、報告を求めた陳情について

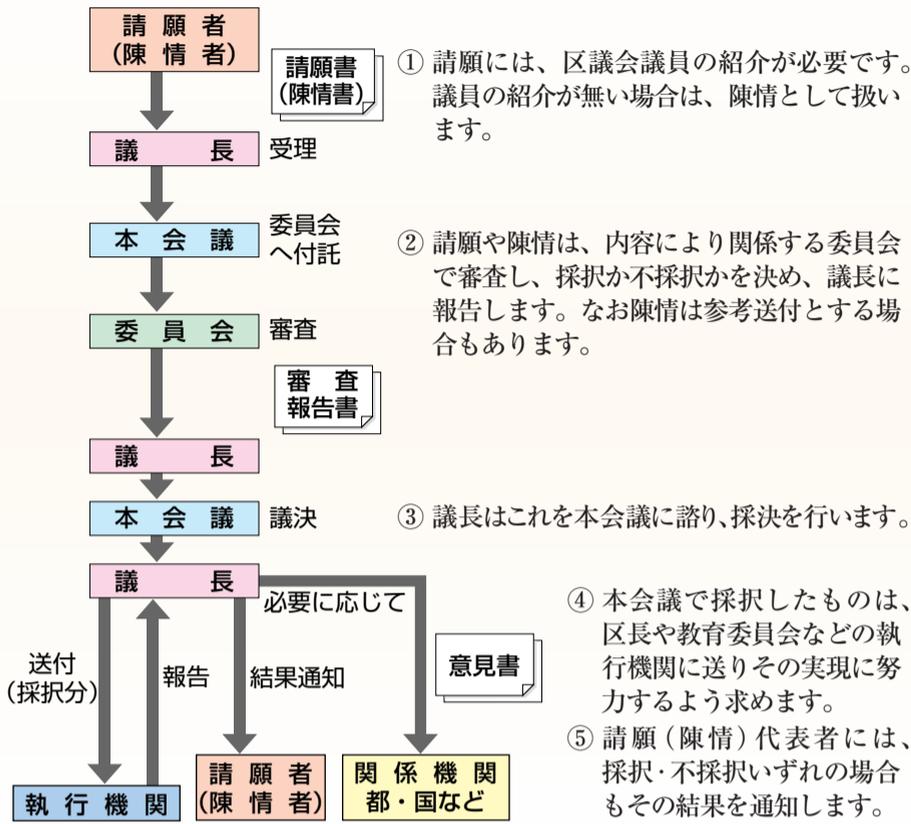
平成22年第2回定例会で採択し、区長に報告を求めた陳情について、次のとおり報告があったので、お知らせいたします。

指定喫煙所に関する陳情

区では、平成15年10月に「品川区歩行喫煙および吸殻・空き缶等の投げ捨ての防止に関する条例」を施行し、地域美化の観点から、区内全域における歩行喫煙・ポイ捨て防止の啓発活動を進めてまいりました。さらに、人の往来が多く、歩きたばこにより危険や迷惑の生じるおそれがあり、地域環境の美化が必要と認められる地区については、「路上喫煙禁止・地域美化推進地区」に指定し、路面表示シート・横断幕等で喫煙者に促すほか、毎朝夕の時間帯には「巡回指導員」を配置し、歩行喫煙禁止等の指導・啓発を実施しております。

今回指摘のあった大井町品川道路踏切付近は、この「路上喫煙禁止・地域美化推進地区」に指定されている地域にあたりますが、マナーを守って喫煙する方たちへの配慮も欠かせないことから歩道橋下に吸殻入れを設置した場所、昨年、同趣旨の苦情があった際に、タバコの煙が歩行者側になびかないよう線路寄りに移設をしたところです。現時点では、更なる移設もしくは完全分煙とすることは難しく、今回、喫煙所利用者に対し、煙が歩行者側に流れないように灰皿の近くで吸うよう配慮を呼びかけるマナーアップ看板を設置しました。今後につきましても、区内各地で行われるイベントの場などを利用して歩行喫煙防止等の啓発活動をすすめ、快適で住みよい地域社会の形成に努めてまいりますので、ご理解ご協力のほどよろしく願います。

請願・陳情の審査のながれ



請願・陳情を提出するには

- ① 皆さんのご意見やご要望をA4版の文書(別記様式参照)にしてください。
- ② 請願(陳情)代表者の住所・氏名を書き、押印してください。
- ③ 請願の場合には紹介議員の記名押印を受けてください。

〇〇に関する請願(陳情)
平成 年 月 日

品川区議会議長
〇〇〇〇 様

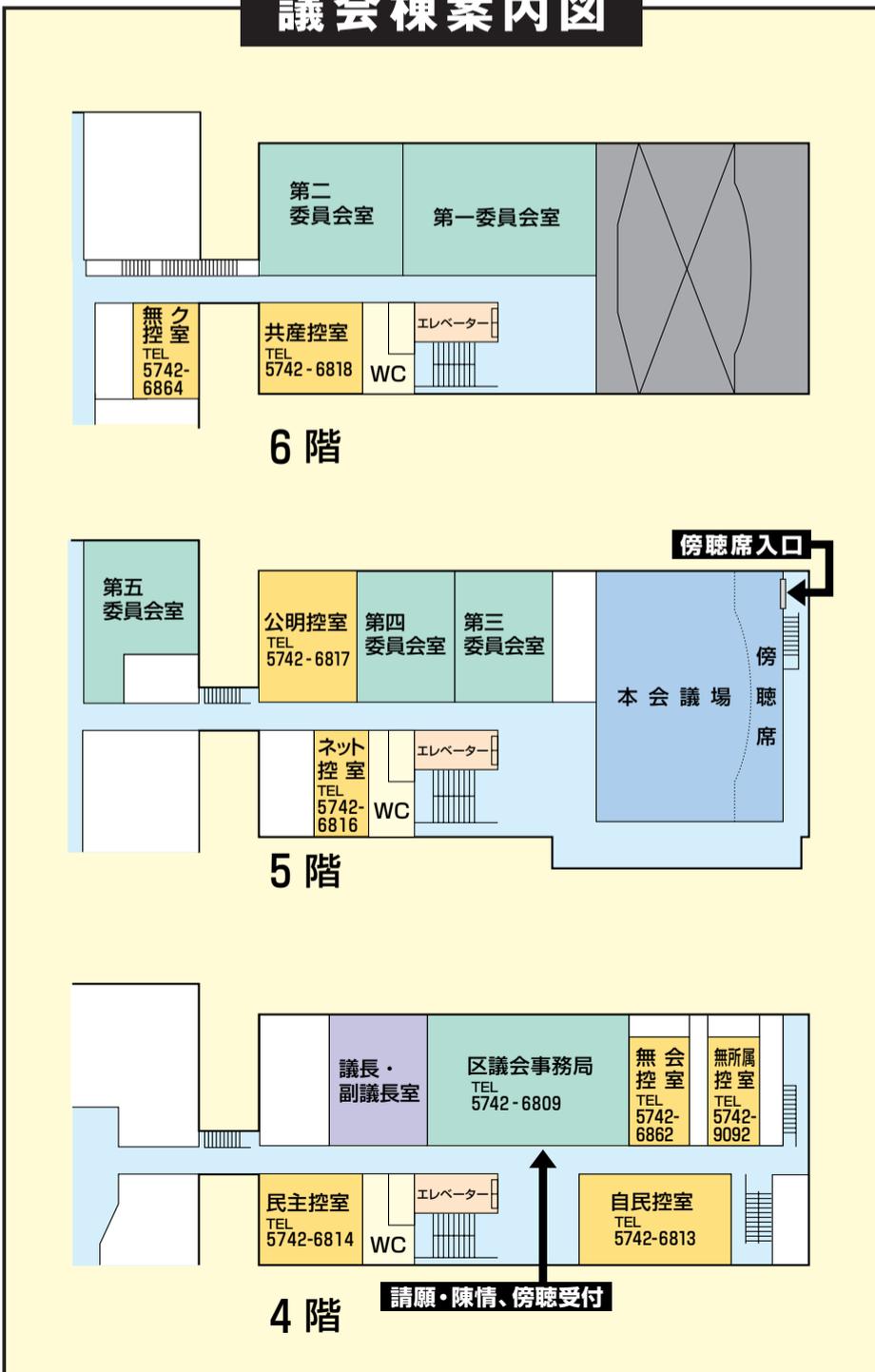
紹介議員(陳情には不要)
氏名(印)
請願(陳情)代表者
住所・氏名(印)
ほか 人
(連絡先電話番号)

請願(陳情)の要旨
理由

④ 定例会のはじめに請願(陳情)が付託されるには、その準備のため定例会の開会の日の4日前(土・日・祝日を含まず)までにお出しください。

※提出先
区議会事務局
議事係
電話 5742-16809

議会棟案内図



本会議・委員会の日程(予定)

本会議の区長施政方針、代表・一般質問と答弁をケーブルテレビ品川の「品川区民チャンネル」で放送します。

	開催日時	放送内容	放送日	再放送日
本会議 第1回定例会	2月23日(水) 午後1時から	区長施政方針 代表質問 (手話通訳を取り入れています。)	2月28日(月)・ 3月1日(火)に わけて放送しま す。	3月5日(土)
	2月24日(木) 午前10時から	代表質問 一般質問 (手話通訳を取り入れています。)	3月1日(火)~3 日(木)にわけて 放送します。	3月5日(土)・6日 (日)にわけて 放送します。
	2月25日(金) 午前10時から	一般質問 (手話通訳を取り入れています。)	3月3日(木)~4 日(金)にわけて 放送します。	3月6日(日)
	3月29日(火) 午後1時から		放送はありません	

ケーブルテレビで放送された会議の様子は、放送終了後に品川区議会ホームページで配信します。また、DVD、ビデオテープを貸し出しています。ご希望の方は区議会事務局調査係5742-6810へお電話ください。

委員会	委員会名	開催日
	※すべて午前10時から開催します	
常任委員会	総務	2月28日(月)・3月1日(火)
	区民	2月28日(月)・3月1日(火)
	厚生	2月28日(月)・3月1日(火)
	建設	2月28日(月)・3月1日(火)
	文教	2月28日(月)・3月1日(火)
特別委員会	行財政改革	3月2日(水)
	環境対策	3月3日(木)
	予算	3月7日(月)・8日(火)・10日(木)・11日(金)・ 14日(月)・15日(火)・16日(水)・22日(火)

予算特別委員会総括質疑も放送します

3月22日(火)に行われる予算特別委員会総括質疑の様子を放送する予定です。放送日時などの詳細は、「品川区議会ホームページ」「広報しながわ」等をご覧ください。